



一般社団法人 東京都森林協会
 発行人 東京都森林協会会長 三谷 清
 〒190-0181
 東京都西多摩郡日の出町大久野7852
 ☎042-597-2881

No.07
 2021年2月

(建設中の檜原村 森のおもちゃ美術館)

令和3年の抱負

昨年2020年は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、感染者数1億人、死者200万人に迫る全地球規模のパンデミックに翻弄された長い1年でした。突然の病に倒れ亡くなった方々に哀悼の意を表するとともに、いまだに先が見えないコロナ禍の中で、必死の努力を続けている医療関係者の皆様に、心からの敬意と感謝を捧げます。

今年1年も、まだ同様の異常事態が続くと危惧されていますが、それと同時に、コロナ以降の新しい社会のあり方が、色々な面から語られ、議論され、温められていくと思われまます。本当の豊かさとは何なのか。地球温暖化を引き起こしてきた、無秩序な自然環境の改変や、暮らしのあり方についても、見直されなければならないでしょう。

東京一極集中から、都市周辺の住みやすい地域への回帰が起こることも期待されます。多摩地域が、今以上に緑豊かで多様な環境を維持し、かつ活気のある地域でありつづけるために、当協会も一層の努力を重ねていきたいと思ひます。

一般社団法人 東京都森林協会
 代表理事会長 三谷 清

多摩産材を使って森林を育てる



檜原村役場
産業環境課

檜原村では現在、木材産業の活性化を図り、木を中心とした環境を創造していくことで木の持つ素晴らしさを再認識するとともに、多世代が集える場所の提供により世代間の交流を促し、地域文化の継承に資するため、小沢地区に「檜原森のおもちゃ美術館」の建設を進めています。

木造2階建て、延床面積約983㎡の建物となり、館内には、おもちゃを実際に手に取って遊べるプレイルームを中心に、企画展示室やグッドトイレーム、糸ノコを使った工作室の他、ミュージアムショップやカフェも併設します。

このおもちゃ美術館は、東京おもちゃ美術館（四谷）の姉妹館として建設しており、全国規模で姉妹おもちゃ美術館によるネットワークを広げていきますが、建築工事や人材育成等、令和3年秋のOPENを目指してハード事業、ソフト事業ともに順調に進めております。

以下に、これまでの経緯や今後の運営などをご紹介します。



檜原村では、これからの木材の更なる利活用、雇用創出の促進等に繋げるため、2014年（平成26年）に「檜原トイビレッジ構想」の検討を開始し、同年の12月にウッドスタート宣言を行いました。ウッドスタートは、生まれたときから木に触れ、木のもつ素晴らしさを体感してもらうため、新生児に木のおもちゃを誕生祝品としてプレゼントする事業で、これまでに50名を超える新生児に、ひのはら産材のおもちゃを贈呈しています。



その後、2015年（平成27年）からは、檜原村の一大イベントである、払沢の滝ふるさと夏まつりの開催に合わせ、木育キャラバン（移動おもちゃ美術館）を開催しています。

2019年（平成31年）には、おもちゃ美術館に隣接するおもちゃ工房が運営開始、2020年（令和2年）からは、檜原森のおもちゃ美術館の建設を開始しております。

おもちゃ美術館は、もともと北檜原小学校があった場所に建設しています。1966年（昭和41年）の建て替え以降、地域の子どもたちが学び遊んだ記憶が刻まれた場所です。

北檜原小学校は、1984年（昭和59年）に檜原小学校に統合され、廃校となった後、渋谷区に貸し出され、渋谷区自然の家として活用されてきました。

しかし、2017年（平成29年）、老朽化に伴い閉鎖、耐震診断等の結果により、2019年（平成31年）に解体されることとなりました。

その跡地に、地域の想いも乗せて、新しく「檜原森のおもちゃ美術館」として生まれ変わります。



おもちゃ美術館の運営は、地元である小沢地区の有志により立ち上げられた、「特定非営利活動法人 東京さとやま木香會（とうきょうさとやまもっこうかい）」が指定管理者として運営を行っていきます。

また、運営の要となる「おもちゃ学芸員（ボランティア）」の養成講座も開始しており、秋のOPENまでに、4回の養成講座を開催し、約100名のおもちゃ学芸員を養成する予定で、おもちゃと遊びの伝道師として活躍していただくこととなります。なお、檜原村では全国初の「そとあそび学芸員」の養成講座も実施しており、檜原村の自然環境の素晴らしさを余すことなく来館者に伝えていく予定となっております。

おもちゃ美術館に使用する材料は、ひのはら産材や多摩産材にこだわり、実際に小沢地区の山林から伐採・搬出された材を多用しています。構造材だけではなく、板材やおもちゃの材料にもふんだんに使用しており、おもちゃ美術館としての機能だけではなく、一種のモデルハウスの様に、ひのはら産材等の木材の良さを感じていただける建物となるように進めています。

同じ小沢地区には、檜原村の特産品である「ジャガイモ」を使用した焼酎を製造する施設も建設しております。

この施設もひのはら産材等を多用した建物となっており、木造平屋建て、延床面積約440㎡の建物になります。

施設内には、お土産物や軽食を提供するショップも併設し、いわゆる道の駅的な機能を持たせた

いと考えており、令和3年の夏以降には焼酎の仕込みが始まる予定です。

また、近隣には神戸（かのと）国際マス釣り場や、東京都指定天然記念物である神戸岩（かのといわ）といった施設や景勝地もあり、それぞれの施設が連携し、地域一帯となった拠点整備を構築していきます。



結びになりますが、おもちゃ美術館に訪れる人や運営に携わる人、地域の全ての人が笑顔でいられるような、そんな施設を目指していきたいと思えます。

皆様もどうぞ遊びにいらしてください。お待ちしております。



とうきょう森づくり 貢献認証制度



第16回審査会は新型コロナウイルス感染症防止の観点より、集合審査会を取りやめ各審査員の個別書面審査を11月に実施し、下記の団体からの申請が全審査員より承認となりました。

認定された団体は次のとおりとなります。

■森林整備サポート認定部門

◎株式会社きらぼし銀行 様
八王子市裏高尾町の山林整備に関わる認定



■多摩産材製品による二酸化炭素固定量認証

◎認証申請者はありませんでした。

■建築物等による二酸化炭素固定量認証

◎東急電鉄株式会社 (建築主) 様
◎株式会社アトリエ・ユニゾン (設計者) 様
◎東急建設(株)都市開発支店 (事業者) 様
東急電鉄池上線戸越銀座駅ホーム上家の建設に関わる認証

国産木材の魅力発信拠点 MOCTION開設

東京都が運営する施設MOCTIONの常設スペースには「東京の木多摩産材」を活かしたコンセプト家具や内装を展示しております。

この機会に会場を訪れてみませんか。

MOCTION 施設概要

所在地 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー
リビングデザインセンター
OZONE 5F

電話番号 03-6258-0082 (代)
開館時間 10時30分～18時30分
休館日 水曜日(祝日を除く)
夏期・年末年始

お知らせ

多摩産材認証協議会では多摩産材の普及拡大に向けて、ヒノキの温もりを身近に感じて頂ける「スマホスタンド」を作成いたしました。

ご希望の方は

(一社) 東京都森林協会HPより

MENU欄のお問合せ欄より必要事項を記入し送信申し込み願います。

※数に限りがありますのでお早めをお願いいたします。

